

活動予定カレンダー

TKC SCHEDULE

平成29年7月		平成29年8月		平成29年9月	
日	曜	日	曜	日	曜
1	土	1	火	1	金
2	日	2	水	2	土
3	月	3	木	3	日
4	火	4	金	4	月
5	水	5	土	5	火
6	木	6	日	6	水
7	金	7	月	7	木
8	土	8	火	8	金
9	日	9	水	9	土
10	月	10	木	10	日
11	火	11	金	11	月
12	水	12	土	12	火
13	木	13	日	13	水
14	金	14	月	14	木
15	土	15	火	15	金
16	日	16	水	16	土
17	月	17	木	17	日
18	火	18	金	18	月
19	水	19	土	19	火
20	木	20	日	20	水
21	金	21	月	21	木
22	土	22	火	22	金
23	日	23	水	23	土
24	月	24	木	24	日
25	火	25	金	25	月
26	水	26	土	26	火
27	木	27	日	27	水
28	金	28	月	28	木
29	土	29	火	29	金
30	日	30	水	30	土
31	月	31	木		

※主な行事を掲載しています。日程が変更となることもありますので個別案内をご確認ください。

TKC北海道

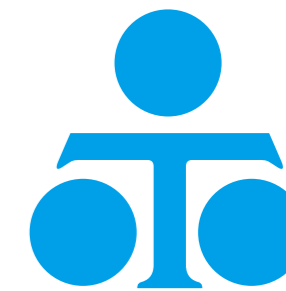
かいほう 2017.7.25
第219号



TKC北海道会広報委員会

札幌市中央区北3条西3丁目1札幌北三条ビル4階
TEL(011)222-8505 FAX(011)222-8622

発行責任者/田中 裕之 編集責任者/宮下 直樹 印刷所/株式会社メディアプラネット



Chance, Change and Challenge
TKC HOKKAIDO



8年間、ありがとうございました!

CONTENTS

- 会長退任のご挨拶 02
- 会長就任のご挨拶と所信表明 03
- TKC北海道会 役員名簿 05
- TKC北海道資産活用委員会大和部会視察旅行 06
- 事務所総合力による企業防衛 07
- TISC&TKC栃木本社見学会報告 09
- 前期の三共済推進実績 10
- 平成29年書面添付実践件数 16
- 支部例会・研修会だより 18
- 帰ってきた けんたの業務日誌 19
- 会員訪問 20
- リレーエッセイ「時・空・人」 24
- スープカレーは本懐、そこに萌えんとは、君 25
- コラム・棚おろし評 26
- 委員長みやしたの取調室 28
- 編集後記 29
- eひと・eはなし
- 札幌西支部/小野 成図 15
- 札幌西支部/小島 史資 23
- 札幌東支部/大林 慎一 29

会長退任のご挨拶 —8年間、ありがとうございました！—

■感謝の念

平成21年9月2日に開催された第37回定期総会において、役員選考委員会のご推挙によりTKC北海道会会長を拝命したことが昨日のことのように思い出されます。このたび4期8年の任期を無事に終えることができましたのも、ひとえにTKC北海道会会員の皆様、支えてくださった歴代副会長・支部長・委員長の皆様、事務局の皆様、そして株式会社TKCを始めとする関係諸機関の皆様ならびに提携・協定企業等の皆様の、絶大なご支援、ご協力の賜と衷心より感謝を申し上げます。

先達の先生方が苦勞をしながら築き上げてこられた礎（いしずえ）に立たせていただき、職業会計人を取り巻く環境の変化に対応しながら「TKC北海道会会員事務所の業務水準の向上と経営基盤の強化」を標榜して活動してまいりましたが、まだまだ道半ばと実感しています。

■中小企業支援こそが職業会計人の活路

なぜ会員事務所の業務水準向上が必需なのか。

TKC全国会の坂本孝司会長は、日本の企業数の99.7%を占める中小企業のために、職業会計人が専門家としてかわるべき分野は4つあるとおっしゃっています。「税務」「会計」「経営助言」「保証」の4分野です。この4つの分野の共通項は信頼性の高い「会計帳簿」であり、これらのフレームワークを支えるのは「月次巡回監査」と「システム」であるという明快な論理です。

今後、ICTやAIがどんなに進展しても、経営者とのコミュニケーションを重視し、上記4分野のバランスを取り続けながら高付加価値体制を構築することができれば、職業会計人の業界は持続的発展をすることができるでしょう。

しかし、業界が将来も作業レベルの業務に終始していたのなら、社会的に価値のない一団となり下がり、AIの波に飲み込まれてしまうでしょう。

TKC北海道会の会員の皆様には是非、職業会計人の業界をリードする存在になっていただきたいと、心より念じています。

■おわりに

これからTKC北海道会を牽引する田中裕之新会長は、経験・実績ともに豊富で、職業会計人の業界に対する危機感を強くお持ちです。田中会長のもと、全員が一丸となって、この難局をともに乗り切りましょう。私も、引き続き拝命したTKC全国会副会長として、できる限りのご支援を申し上げたいと思います。

最後になりますが、8年間に渡り私を支えてくれた家族と加藤会計事務所のメンバー全員に心より感謝を申し上げます。

職業会計人よ、永遠なれ!!!

(TKC北海道会 顧問 加藤恵一郎)

本年7月1日より、会長を拝命いたしました田中裕之でございます。会長職の重責をいまさらながらひしひしと感じているところです。

これまで会長をお務めいただいた諸先輩のリーダーシップと功績を考えたとき、浅学非才の自分が、TKC北海道会の会務運営において、会長としての役割を十分に果たしていけるのか大変不安ではありますが、私を指名してくださった加藤恵一郎前会長が任命責任を問われることのないよう全力で職務を全うしていく所存です。

さて、これから会務を進めていくに当たり、私の所信を表明させていただきます。

そもそもTKC全国会という組織は何のために結成され、TKC会員は何のために会務活動に邁進するのかを今一度考えたとき、誤解を恐れずに申し上げますと、最終的には、税理士制度が世の中に絶対必要なものであるということを知ってもらうため、すなわち税理士業界の発展のためであると考えました。このことは、本年1月より全国会会長に就任した坂本孝司会長が「税理士業界全体が社会に認められ、尊敬される職業になるよう力を尽くす」との考えを示されたことから明らかでありますし、さらに、これは故飯塚毅名誉会長がTKC全国会を結成した目的を、再確認するための表明に他ならないものと考えます。

税理士制度が真に社会から認められるためには、まずわれわれTKC会員が徹底して研鑽を重ね、率先して社会の役に立つ存在になることが



重要であり、事務所総合力強化の必要性はここにあります。これはまさに「自利利他」の基本理念に基づく実践に他ならないと考えます。ところが、TKC全国会は今日に至るまで、一貫してその目的達成のためにさまざまな施策の推進活動を続けていますが、目的達成の手段であるはずの各種施策が、いつのまにかその施策を推進すること自体が目的となってしまい、本来の目的を見失っているように思います。このことをふまえて、まずは会員の皆様と何のために活動するのかを再認識することから始めたいと考えます。

その上で、加藤前会長が進めてこられた施策をしっかりと受け継ぎ、当面、特に以下の2つの施策に重点をおいて活動していきたいと考えます。

1. TKC方式の自計化推進と継続MAS利用による経営計画策定支援

税理士に対する社会からの期待は、その時代

の変遷とともに当然変化していると考えます。高度経済成長期からバブル崩壊までの黒字割合が高い時代においては、税理士に対する期待の中心は税務でした。しかし、バブル崩壊後今日に至るまでの黒字申告割合が概ね3割という景気低迷時代においては、税務に対する期待は一部の黒字企業だけのものであり、多くの中小企業の期待が、黒字化支援や、経営支援にあることは間違いありません。したがって、このことわれわれがしっかり応えていかなければ社会から必要とされる存在にはなり得ません。企業が安定した黒字経営を実現するためには、都度業績を確認できる体制の構築と経営計画に基づく経営が必須であると考えます。

したがって、われわれは、自計化の推進と経営計画策定支援にしっかり取り組んで、中小企業をサポートしていかなければならないものと考えます。自計化の推進は確実に進展しているように感じますが、北海道会の自計化率は、いまだ約48%であり、さらなる推進が望まれます。それ以上に、問題なのは、継続MASの予算登録割合が15%弱という低さであり、会員事務所の業務において、経営計画策定支援が実践されていない状況が伺われます。多くの会員事務所が、TKC方式の自計化を推進し、当然の業務として継続MAS利用による経営計画策定支援が実践されるよう施策を進めていきたいと考えます。

2. 書面添付実践のさらなる拡大

われわれ税理士が、税理士法第1条に規定される税理士の使命を完全に全うするためには、税法に精通する努力を重ねることはもちろんですが、申告業務において相当の注意をはらって適正な申告書を作成しなければならないことは言うまでもありません。ここに自ら作成した申告

書の適正性を積極的に表明する手段が書面添付であると考えます。当然税理士である以上、適正な申告書を作成していると自負している人は少なくないと考えますが、社会から税理士がその使命を全うしていると認めていただくためには、申告書の適正性を自ら積極的に表明する必要があると考えます。現在、作成する申告書に積極的に書面添付をする会員が増えてきましたが、一方で、いまだ全然書面添付を実践していない、あるいは実践していてもほんの一部の申告書のみという会員も少なからずといった状況です。

北海道会は他の地域会に比べ、書面添付を実践する会員は決して少なくありませんが、添付割合は約26%という状況であり、しっかり実践できているとまでは言えません。実践する会員をさらに増やしていくとともに、各会員事務所が1件でも多く書面添付するよう推進していきたいと考えます。

この他にも、決算書の信頼性を担保するための中小会計要領・中小会計指針の普及や企業防衛等の推進、さらに組織の課題として、活発な支部活動を前提とした北海道会の活性化策の検討、業務のベースになるTKC財務システムの利用の促進、ニューメンバーズ会員のフォローの強化など、取り組まなければならない課題がたくさんありますが、少しずつ前進していきたいと考えます。

いずれにしましても、会務の運営におきましては、会員の皆様のご理解とご協力が必要であることは言うまでもありません。税理士業界の未来のために、これからどうぞよろしくお願い申し上げます。

(北海道会 会長 田中 裕之)

TKC北海道会 役員名簿(任期:平成29年7月1日~平成31年6月30日)

順不同・敬称略

顧問 (6名)	
春野守夫	五十嵐勝義 戸井敏夫 千葉寛樹 藤田時人 加藤恵一郎

相談役 (8名)	
川井一男	上田宣政 金坂和正 原幸四郎 名越隆雄 上原 貢 中川信喜 奥山昌弘

参与 (2名)	
井山 等	近藤康範

会長	
田中裕之	

副会長 (5名)	
斎藤雅昭	岩本敏美 本間貴久 佐藤伸泰 木村 聡

理事 (29名)			
総務委員長・資産活用委員長	遠藤 成紀 (兼任)	札幌東支部長	藤本 康男
システム委員長	小中 昌幸	札幌西支部長	山谷 謙太
北海道研修所長	菅野 浩	小樽支部長	西 正則
企業防衛制度推進委員長	川端 忠範	函館支部長	細川 拓厚
リスクマネジメント制度推進委員長	砂原 政広	空知支部長	山田 和訓
巡回監査・事務所経営委員長	小平 康夫	旭川支部長	島田 康弘
書面添付推進委員長	中川 一俊	稚内支部長	蝦名 朗太
ニューメンバーズ・サービス委員長	砂野 隆英	北見支部長	南都 正弘
広報委員長	宮下 直樹	帯広支部長	河合 敏
中小企業支援委員長	小川 裕也	釧路支部長	鈴木 圭介
共済制度等推進委員長	佐々木雅敏	苫小牧支部長	湯谷 和彦
		無 任 所	寺田 勉
		無 任 所	薄井タカ子
		無 任 所	甲賀 伸彦
		無 任 所	駒井 桂伺
		無 任 所	澤田 忠宏
		無 任 所	中井 宏
		無 任 所	八島 依子

TKC北海道会資産活用委員会大和部会視察旅行

毎年恒例の大和部会視察旅行が桜満開の季節である4月6日(木)から8日(土)まで行われました。春の暖かい日差しを受けて、大変に過ごしやすい視察旅行でした。

初日は、伊丹空港から大和ハウス工業(株)の堺工場を視察し、明石海峡大橋を通過して淡路島で宿泊しました。

堺工場は、とても大きな工場で建築鉄骨部材の生産を主に手がけていました。月間1,500tの生産量であり、近畿2府4県を中心として中国、四国、北陸地区に鉄骨を供給しています。これまでの視察旅行では、ショールームのような研修施設で安全を考慮した場所を視察することが多かったのですが、この度は、まさに、作業中の現場工場を視察することができました。わたしのよ
うな「働く車」や「世界の工場」が大好きなものにとっては、ゾクゾクする場所でした。見学ルートを誘導していただきながらも、真横では、溶接作業が行なわれるなどスリル満点の工場見学でした。

2日目は、うず潮を見学した後に倉敷美観地区を散策しました。最近、大原美術館所蔵の美術品が札幌で展示されているようですが、大原美術館が倉敷に存在していたことを初めて認識しました。岸田劉生の作である「童女舞姿」が所蔵されていることも知らなかったことを恥ずかしく思っています。

最終日は、岡山城と姫路城の散策です。岡山城は、「烏城(カラス城)」として有名です。一つ

目の写真は、黒い城である岡山城を背景に写しました。本当に真っ黒です。開城時間の関係で入城することができず、そのことが心残りになりました。圧巻は、姫路城です。関西出身の方で姫路城を訪ねたことのない方は皆無だとのことでした。わたしは、ご縁がなく初めての訪問でした。「桜は満開」で、花びら一つ落花していない状況でした。二つ目の集合写真ではそのことが伝わりにくいですが、背景の観光客の多さは伝わるかもしれません。外国からの観光客で埋め尽くされていました。天守閣までの道のりを世界中の人々と行列をつくりながら、行進したことが良い思い出となりました。大和部会の皆様方お世話になりました。また、近藤康範先生、小田川繁先生、写真の提供をありがとうございました。そして、戸井敏夫先生、藤田時人先生、ご多忙のところご参加いただきましてありがとうございます



ました。

約10年間、大和部会の部会長を務めてまいりましたが、部会長としての視察旅行はこれで最後

となります。これまでの会員の皆様のご協力に感謝を申し上げます。

(札幌東支部 川股 修二)



4月21日 企業防衛制度特別研修会を開催

事務所総合力強化による企業防衛

去る4月21日(金)、ロイトン札幌において、平成29年度企業防衛制度特別研修会が開催されました。

研修会は、会員、職員、(株)TKC、大同生命保険(株)の参加者総勢300名を超え、会場は開会から閉会まで刺激のある大研修会となりました。

以下、簡単ではございますが、研修会のご報告をいたします。

1. 「オープニングビデオ」、「企業防衛行動指

針」の唱和から始まり、その後、TKC北海道会加藤恵一郎会長のあいさつがありました。

加藤会長からは、あいさつと併せて、「TKC全国会の運動方針」について発表があり、経営助言としての企業防衛に関してわかりやすく解説いただきました。

2. TKC全国会企業防衛制度推進委員会の本間貴久副推進委員長、TKC北海道会企業防衛制度推進委員会の駒井桂伺副推進委員長より活動方針の発表がありました。

平成29年度TKC全国会の活動方針は、「事務所の推進体制を確立しよう!」です。P:事務所推進体制の確立・強化、D:法人・個人へのトータル保障提案の徹底、CA:事務所内推進会議の実施。事務所内でPDCAを回し企業防衛に取り組んでいくということです。

それを受けてTKC北海道会の活動方針は、年度最重要テーマ「標準保障額算定による法人・個人のトータル保険指導の実践」、年度到達目標「監査担当者実働率70%以上」を掲げ、スローガンは「Change! 完全防衛 PDCA」と発表がありました。

3. 企業防衛推進友の会による推進事例研修。今回は、札幌西支部、函館支部、釧路支部の代表の方から発表がありました。

入社1年目の監査担当者の推進事例、事務所内推進会議の活発化に向けて取組事例、トータル保障(JTM)提案の取組事例があり、具体的な事例であることから参加された皆さんは聞き入っていました。

4. 特別講演『事務所総合力強化による企業防衛』と題して、TKC四国会の高田勝人会員より講演がありました。

KBD(企業防衛データベース)を効果的に活用し、保険指導PDCAサイクルを回すことで着実に推進実績を伸ばしているとお話されました。中でも講演のタイトルにもあります「事務所総合力の強化」の部分では、数年前から自計化と継続MASを推進し事務所の体質改善を図り、その結果が企業防衛の推進実績につながった。また、自計化が進むことで月次巡回監査の時間配分が変わり経営者との話をする時間が増え、継続MASで保険加入後の利益や資金計画



TKC 四国会 高田勝人会員

も見える化でき、監査担当者も自信をもって提案できるようになったとお話されました。

事務所経営と絡めた実体験に基づくお話が盛りだくさんで大変勉強になりました。

最後は、TKC北海道会の田中裕之企業防衛担当副会長の閉会のあいさつで平成29年度企業防衛制度特別研修会は終了となりました。

長時間にわたる研修会となりましたが、推進事例研修、特別講演の内容はどれも新鮮で刺激があり、活動方針の発表についても大変わかりやすく説明いただき、私自身、改めて関与先完全防衛に向け企業防衛に取り組もうと決意いたしました。

(函館支部 中村 博信)

システム委員会「GO! GO! GO! 大作戦」 TISC&TKC栃木本社見学会 報告

TKC北海道会自計化「GO! GO! GO! 大作戦」の表彰旅行が、4月14日(金)に開催されました。宇都宮は桜の満開時期が終わっているほどとても暖かく、北海道との温度差を感じました。

今回参加された事務所は、税理士法人加藤会計事務所(札幌東支部)、駒井桂伺税理士事務所(苫小牧支部)、田村栄章税理士事務所(稚内支部)です。

TISC見学会では、TISCが災害に強い堅牢な建物であることを実際に屋上や地下を回り見て、体験し、(株)TKCの社員が、24時間体制で稼

働状況を監視している状況も確認できました。(株)TKC栃木本社では、宮下恒夫監査役に水月庵、飯塚毅記念館、IT博物館を案内していただきTKCの創業からの歴史についてご講演していただきました。その後、魚谷仁司取締役の方々にシス研見学、最新システム情報(今回はローカルベンチマーククラウドでした)の講演をしていただきました。

6月に第二陣の表彰旅行が開催される予定です。

(システム委員会 委員長 小中 昌幸)



水月庵にて



飯塚毅記念館にて



TISC前

前期（平成28年6月～平成29年5月）の三共済推進実績

TKC北海道会会員の皆様、日頃は三共済の推進にご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。

先日、全国会より前期の三共済の挙績結果が以下の通り発表されました。

前期は、残念ながら小規模企業共済の件数及び会員数目標の2つが未達でした。ただし、小規模企業共済の会員数以外は前期実績以上の結果となりました。

前期は、小規模企業共済の件数目標が前々

期比130%超という全国会一の増加目標を割り当てられたこともあり、目標を達成することができませんでしたが、件数伸び率では全国第2位とかなり頑張りました。これもひとえに会員の皆様のおかげと感謝申し上げる次第です。

今期は若干の目標件数の増加はありますが、ほぼ前期並みの目標となりましたので、今期も三共済の推進をよろしく願いいたします。

（共済制度等推進委員会 委員長 佐々木雅敏）

三共済実践事務所に エントリーしてください！！

今期から、三共済制度を事務所全体で取り組むことを宣言していただく「三共済実践事務所」制度を導入することになりました。

「三共済実践事務所」の目的を理解して①「三共済実践宣言書」を提出された事務所で、②平成29年6月～平成30年5月までの期間に三共済（新規・増額）を合計3件以上推進された事務所には、特典として今期はキャンペーン期間外の挙績に対してもキャンペーン商品（クオカード500円/件）を贈呈します。（つまり、1年間ずっとキャンペーン期間となります。）

8月末までのエントリー期間にぜひ「三共済実践宣言書」を提出してください。

三共済実践事務所宣言書

三共済制度とは、

1. 小規模企業共済・・・リタイアした後の資金をどうするか
2. 中小企業倒産防止共済・・・取引先が倒産したときの資金をどうするか
3. 中小企業退職金共済・・・従業員が退職したときの資金をどうするか
に備える制度です

当事務所は

1. 三共済制度の加入推進に事務所全体で取り組みます
2. TKC三共済クラウドを徹底活用して推進します
3. TKC企業共済会を通して加入することで、関与先の満足度を高めます

「三共済実践事務所」の目的を理解し、事務所全体で
三共済制度の加入推進に取り組むことを宣言いたします

平成29年 月 日

（所長名）

（事務所名）

（推進担当者）

（平成29年8月31日 期限）

TKC北海道会事務局 FAX:011-222-8622まで

小規模企業共済 推進状況(29年05月速報版)

1.順位

順位	地域会	①目標	②実績	③前年同月	達成率(%)	伸率(%)	伸率順位
					②÷①	②÷③	
1	北陸会	538	882	974	163.9%	90.6%	14
2	四国会	425	612	598	144.0%	102.3%	6
3	静岡会	717	1,025	887	143.0%	115.6%	1
4	千葉会	566	686	744	121.2%	92.2%	13
5	中部会	1,643	1,831	1,805	111.4%	101.4%	7
6	東北会	1,118	1,190	1,459	106.4%	81.6%	19
7	近畿大阪会	796	815	902	102.4%	90.4%	15
8	神奈川会	741	744	691	100.4%	107.7%	3
9	城北東京会	424	420	540	99.1%	77.8%	20
10	中国会	1,170	1,150	1,075	98.3%	107.0%	4
11	九州会	1,676	1,645	1,538	98.2%	107.0%	5
12	近畿京滋会	561	545	613	97.1%	88.9%	17
13	北海道会	836	808	727	96.7%	111.1%	2
14	西東京山梨会	615	531	546	86.3%	97.3%	12
15	関東信越会	2,666	2,229	2,206	83.6%	101.0%	9
16	東京都心会	666	552	554	82.9%	99.6%	10
17	南近畿会	821	673	685	82.0%	98.2%	11
18	近畿兵庫会	637	491	556	77.1%	88.3%	18
19	東・東京会	557	422	474	75.8%	89.0%	16
20	東京中央会	827	466	460	56.3%	101.3%	8
	合計	18,000	17,721	18,052	98.5%	98.2%	

2.参加会員数

順位	地域会	①目標	②実績	③前年同月	達成率(%)	伸率(%)	伸率順位
					②÷①	②÷③	
1	静岡会	167	212	200	126.9%	106.0%	6
2	北陸会	127	158	156	124.4%	101.3%	15
3	四国会	99	123	119	124.2%	103.4%	11
4	中部会	383	420	404	109.7%	104.0%	10
5	近畿大阪会	186	199	193	107.0%	103.1%	12
6	南近畿会	191	201	175	105.2%	114.9%	1
7	神奈川会	173	173	174	100.0%	99.4%	16
8	西東京山梨会	143	141	146	98.6%	96.9%	18
9	近畿京滋会	131	125	115	95.4%	108.7%	3
10	城北東京会	99	94	89	94.9%	105.6%	7
11	九州会	391	366	349	93.6%	104.9%	9
12	東北会	261	241	236	92.3%	102.1%	14
13	千葉会	132	121	111	91.7%	109.0%	2
14	近畿兵庫会	149	132	140	88.6%	94.3%	19
15	関東信越会	622	544	510	87.5%	106.7%	5
16	中国会	273	234	227	85.7%	103.1%	13
17	北海道会	195	160	165	82.1%	97.0%	17
18	東京都心会	155	126	118	81.3%	106.8%	4
19	西・東京会	130	99	105	76.2%	94.3%	19
20	東京中央会	193	140	133	72.5%	105.3%	8
	合計	4,200	4,010	3,866	95.5%	103.7%	

倒産防止共済 推進状況(29年05月速報版)

1.件数

順位	地域会	①目標	②実績	③前年同月	達成率(%)	伸率(%)	伸率順位
					②÷①	②÷③	
1	四国会	284	552	508	194.4%	108.7%	13
2	北陸会	360	690	640	191.7%	107.8%	15
3	静岡会	478	741	641	155.0%	115.6%	8
4	東北会	745	1,000	1,017	134.2%	98.3%	20
5	九州会	1,118	1,497	1,220	133.9%	122.7%	4
6	神奈川会	494	629	496	127.3%	126.8%	1
7	千葉会	376	474	438	126.1%	108.2%	14
8	西東京山梨会	410	509	404	124.1%	126.0%	3
9	北海道会	557	689	617	123.7%	111.7%	12
10	近畿兵庫会	425	473	415	111.3%	114.0%	9
11	中部会	1,095	1,210	1,159	110.5%	104.4%	16
12	中国会	780	848	814	108.7%	104.2%	17
13	東京都心会	444	482	401	108.6%	120.2%	5
14	近畿大阪会	531	563	445	106.0%	126.5%	2
15	近畿京滋会	374	394	337	105.3%	116.9%	6
16	関東信越会	1,777	1,730	1,698	97.4%	101.9%	18
17	東京中央会	552	531	474	96.2%	112.0%	11
18	城北東京会	283	261	264	92.2%	98.9%	19
19	東・東京会	372	328	292	88.2%	112.3%	10
20	南近畿会	545	449	385	82.4%	116.6%	7
	合計	12,000	14,110	12,779	117.6%	110.4%	

2.参加会員数

順位	地域会	①目標	②実績	③前年同月	達成率(%)	伸率(%)	伸率順位
					②÷①	②÷③	
1	北陸会	91	153	140	168.1%	109.3%	9
2	四国会	72	113	101	156.9%	111.9%	7
3	静岡会	119	178	165	149.6%	107.9%	11
4	神奈川会	123	167	140	135.8%	119.3%	2
5	中部会	274	353	324	128.8%	109.0%	10
6	近畿大阪会	133	168	139	126.3%	120.9%	1
7	九州会	279	339	301	121.5%	112.6%	6
8	近畿兵庫会	106	128	113	120.8%	113.3%	5
9	西東京山梨会	102	119	113	116.7%	105.3%	14
10	東北会	186	211	199	113.4%	106.0%	13
11	南近畿会	137	155	134	113.1%	115.7%	4
12	城北東京会	71	78	73	109.9%	106.8%	12
13	近畿京滋会	93	102	100	109.7%	102.0%	18
14	北海道会	139	151	151	108.6%	100.0%	19
15	中国会	195	204	211	104.6%	96.7%	20
16	千葉会	94	95	91	101.1%	104.4%	15
17	関東信越会	444	446	434	100.5%	102.8%	17
18	東京都心会	111	110	107	99.1%	102.8%	16
19	東・東京会	93	88	76	94.6%	115.8%	3
20	東京中央会	138	125	112	90.6%	111.6%	8
	合計	3,000	3,484	3,225	116.1%	108.0%	

中退共制度 推進状況 (29年05月速報版)

1.件数

順位	地域会	①目標	②実績	③前年同月	達成率(%)	伸率(%)	伸率順位
					②÷①	②÷③	
1	北陸会	36	73	63	202.8%	115.9%	10
2	東北会	75	123	95	164.0%	129.5%	4
3	四国会	28	44	38	157.1%	115.8%	11
4	北海道会	56	69	56	123.2%	123.2%	6
5	静岡会	48	59	49	122.9%	120.4%	7
6	九州会	112	116	85	103.6%	136.5%	3
7	西東京山梨会	41	42	27	102.4%	155.6%	2
8	関東信越会	178	178	151	100.0%	117.9%	8
9	中国会	78	76	73	97.4%	104.1%	15
10	近畿大阪会	53	50	39	94.3%	128.2%	5
11	神奈川会	49	42	38	85.7%	110.5%	13
12	中部会	110	94	81	85.5%	116.0%	9
13	東・東京会	37	30	27	81.1%	111.1%	12
14	近畿京滋会	37	29	31	78.4%	93.5%	16
15	南近畿会	55	40	38	72.7%	105.3%	14
16	千葉会	38	27	30	71.1%	90.0%	17
17	近畿兵庫会	42	29	41	69.0%	70.7%	19
18	東京中央会	55	37	21	67.3%	176.2%	1
19	城北東京会	28	18	27	64.3%	66.7%	20
20	東京都心会	44	24	28	54.5%	85.7%	18
	合計	1,200	1,200	1,038	100.0%	115.6%	



札幌西支部

小野 成図
Shigeto Ono

5月の連休明けに、本原稿の依頼を受け、何を書こうか迷いましたが、連休中に家族で行ったレゴランド名古屋のレポートをさせていただこうと思います。

会員読者の皆様でご存じない方も多いと思います。レゴランドとは、おもちゃのレゴブロックを販売するLEGO社が開設した屋外型テーマパークです。1968年にデンマークで初開設され、現在世界7カ国(8ヶ所)に存在しています。国際ブランドのテーマパークであり、入場料(大人6,900円)が、東京ディズニーランド(TDL)(大人7,400円)やユニバーサルスタジオジャパン(大人7,600円)と同水準のためか、これらと比較されがちですが、決して比較してはいけません。

そもそもアトラクションの対象年齢が2歳から12歳と低いため、アトラクション、施設、営業時間等々の面において全体的に、速くない、大きくない、高くない、広くない、長くないのが特徴で、すべてが小さな子供にとってちょうどよい程度にできているのです。TDLがおおよそ札幌ドーム9個分であるのに対し、レゴランドはおおよそ2個分ですから、すぐに全体を見て回ることができますし、大人も疲れません。

では、大人が楽しめないのかということそうでもありません。特にエリア内の「ミニランド」は必見であります。ここには日本各地の観光名所をレゴブロックで再現した作品が展示されています。写真は、札幌の「JRタワー/札幌駅」と「テレビ塔」ですが、北海道エリアでは、このほかに、時計台、雪まつり風景、赤レンガ道庁、北海道開拓の村、登別温泉街、地獄谷、クマ牧場、羊蹄山とスキー場(?)等々、がとてもリアルに再現されています。レゴブロックで作ったとは思えないクオリティーの高さなのです。北海道だけでもこんなにあるのですから、全国が再現されているとなると、結構見応えがあるのがわかりいただけると思います。

このほかには、レゴ工場見学でしょうか、スペースはそれほど広くありませんが、実際に使われているのと同じ機械が置いてあり、機械が動いて実際のブロックの製造過程を見ることができます。帰りに記念品として、出来たてのレゴブロックも貰えます。美術館や博物館に遊園地がついているという感覚であれば、大人でも十分に楽しめます。ネットでは微妙な評価が多いレゴランドですが、結構デマが多いと感じます。

ただ、私が行った日は連休のど真ん中、今年4月の開園後初の入場制限がかかった日で、最も混雑した日のようでしたが、施設のスタッフの方々はその混雑に不慣れで困惑している様子でした。来場者の見積りと従業員の確保という難しい現実もありますが、東京と大阪との間という地の利を生かして成功してほしいですね。



平成29年 書面添付実践件数(平成29年5月末日現在)

平成29年 書面添付実践件数(平成29年5月末日現在)

列	支部名	会員氏名 【敬称略】	平成29年実績		
			1~4月	5月	合計
1	札幌東支部	五十嵐 勝 義	35	20	55
2		市川 善 明	19	5	24
3		井上 晋 一			0
4		岩本 敏 美	5	5	10
5		小田川 繁	6	1	7
6		梶原 宏			0
7		加藤 恵一郎	105	43	148
8		金子 雅 行	2	2	4
9		金坂 和 正	6	3	9
10		川股 修 二	27	23	50
11		小平 康 夫	12	10	22
12		斎藤 雅 昭	1	5	6
13		坂本文 彦	2	3	5
14		佐々木 忠 則	73	40	113
15		佐々木 俊 幸	1	1	2
16		佐々木 幸 徳	17	17	34
17		佐藤 俊 一	5	2	7
18		佐藤 伸 泰	28	22	50
19		下坂 登	4	2	6
20		清宮 純	30	20	50
21		田中 慎 也			0
22		千葉 寛 樹	42	28	70
23		塚田 修 治	22	19	41
24		出口 秀 樹	22	12	34
25		寺田 勉	36	11	47
26		中川 一 俊	24	14	38
27		中川 信 喜	17	6	23
28		名越 隆 雄		1	1
29		原 幸四郎	39	11	50
30		藤崎 登喜雄	4	2	6
31		藤田 時 人	36	14	50
32		本間 貴 久	39	21	60
33		本間 崇	1		1
34		宮下 直 樹	12	5	17
35		森下 浩	10	4	14
36		八島 依 子	1	4	5
37		山美 幹 生	16	8	24
38		横山 知 明			0
39		吉川 直 宏	3		3
40		米澤 篤 志	2	3	5

列	支部名	会員氏名 【敬称略】	平成29年実績			
			1~4月	5月	合計	
41	札幌西支部	阿部 真 澄	2	8	10	
42		國分 敬 祐	1	1	2	
43		伊東 幹 世			0	
44		上原 貢	8	1	9	
45		遠藤 成 紀	52	23	75	
46		大沼 宏	1	5	6	
47		岡崎 克 明			0	
48		岡崎 正 毅	8		8	
49		岡村 圭 介			0	
50		小川 裕 也	5	5	10	
51		川端 忠 範	3	5	8	
52		小中 昌 幸	12	8	20	
53		杉村 弘 幸	3	2	5	
54		鈴江 誠	18	7	25	
55		砂野 隆 英	4	8	12	
56		高野 一 夫			0	
57		竹中 正 美	9	9	18	
58		田中 裕 之	39	31	70	
59		藤堂 愛 子	2	1	3	
60		西野尾 嘉 拓			0	
61		八森 恵 一			0	
62		平田 清 悦	18	5	23	
63		堀内 鶴次郎	7	8	15	
64		三上 勝 美			0	
65		宮崎 知 行	3	4	7	
66		村西 逸 郎	1		1	
67		茂木 賢 治			0	
68		森下 敏 美	6	3	9	
69		山崎 瑞 枝			0	
70		山田 めぐみ	5	2	7	
71		山谷 謙 太	30	17	47	
72		小樽支部	足立 竹 秀	4	1	5
73			澤田 忠 宏	17	6	23
74			西 正 則	2	1	3
75		函館支部	奥山 昌 弘	9	2	11
76			鎌田 直 善	14	7	21
77			北川 勝 弘	14	4	18
78			後閑 慶 子	2	1	3
79			千田 浩 文		4	4
80			蛭子井 眞 市	2	9	11

列	支部名	会員氏名 【敬称略】	平成29年実績			
			1~4月	5月	合計	
81	函館支部	細川 拡 厚	12	5	17	
82		松山高 治	12	3	15	
83	空知支部	大林 強			0	
84		木村 聡	14	17	31	
85		斎藤 恵美子	14	11	25	
86		坂本 和 繁	41	15	56	
87		谷 勲	14	5	19	
88		鳴海 敏 郎			0	
89		久井 恵			0	
90		八幡 吉 宣	10	7	17	
91		旭川支部	青柳 順 也	2	2	4
92			薄井 博	6	1	7
93	尾田 利 雄		17	13	30	
94	加藤 一 博				0	
95	金谷 博 光		38	21	59	
96	小島 拓 也			1	1	
97	坂本 英 志				0	
98	佐藤 弘 道		2		2	
99	高橋 慎 吾		19	9	28	
100	舟橋 馨		1		1	
101	稚内支部	渡辺 祐 吉	23	16	39	
102		蝦名 朗 太	1	1	2	
103	松井 静 夫	2	1	3		
104	北見支部	伊東 隆 志			0	
105		井山 等	10	2	12	
106		南都 正 弘		1	1	
107	渡邊 直 喜	1		1		
108	帯広支部	井上 理	4	5	9	
109		河合 敏	50	26	76	
110		梅田 勇	33	23	56	
111		白岩 征 之	32	30	62	
112		砂原 政 広	18	13	31	
113		谷本 倍 規	39	35	74	
114		東城 敬 貴	16	7	23	
115		中井 宏	24	20	44	
116		干場 慎 也	1	2	3	
117		松田 孝 志	4	1	5	
118	釧路支部	甲賀 伸 彦	43	37	80	
119		高津 直 人			0	
120		近藤 康 範	15	5	20	

列	支部名	会員氏名 【敬称略】	平成29年実績		
			1~4月	5月	合計
121	釧路支部	鈴木 圭 介	15	5	20
122	苫小牧支部	猪股 冬 樹	1	6	7
123		駒井 桂 伺	11	9	20
124		佐藤 俊 生	2	6	8
125		柴山 徳 雄			0
126		鈴木 啓 一	1		1
127		多田 伸 一			0
128		田村 耕 一	9	13	22
129		湯谷 和 彦	31	19	50
130		小林 史 郎			0

※公表に同意をいただいた会員のみ掲載しています。
 ※掲載は、随時TKC北海道会事務局にて受け付けています。
 ※書面添付実践件数は、TKC全国会の選考基準に基づいた件数です。
 ※実績は法人・個人合算しています。

書面添付実践六箇条

私たちは、この書面添付六箇条の実践が「自利とは利他をいう」とのTKC理念の具現化と、税理士業務の完璧な履行によって租税正義を貫徹するとともに、関与先と我が事務所の成長発展を生み、職員の生活の豊かさを確かなものとし、更に職業会計人の名譽ある社会的地位の確立に直結するものと信じて、書面添付の実践に邁進いたします。

第1条 関与先はもとより、税務当局や地域社会から絶対の信頼と尊敬を得、租税正義を実現するために、私たちは書面添付を実践します。


第2条 世界第一級の会計事務所を目指して、私たちは書面添付を実践します。

第3条 申告是認率 99.99%を目指して、私たちは書面添付を実践します。

第4条 巡回監査の徹底化によって書面添付完全断行体制を構築し、関与先の健全な発展を指向して、私たちは書面添付を実践します。

第5条 広大な教養と実践力を涵養し、かつ我が事務所の経営体質と業務品質の改善を推進するために、私たちは書面添付を実践します。

第6条 激動する社会環境の中で職業会計人として生き残るために、私たちは書面添付を実践します。





旭川支部例会・旭川信用金庫との協議会開催される

4月20日(木)、旭川トーヨーホテルにおいて、支部例会および旭川信用金庫との協議会が開催されました。

午後3時からの支部例会においては、支部長挨拶・理事会報告に始まり、書面添付推進委員会からは「所得税書面添付実践予定件数報告」に対する目標達成率で全国1位となったこと、ニューメンバーズサービス委員会からは、7月に未入会セミナーを予定していること、企業防衛制度推進委員会からは、4月14日(金)に20名の参加で戦略会議を行ったこと等が報告されました。また、7月に農業関係者を対象に、北海道銀行との共催によるセミナーを開催予定との報告後、支部例会・支部総会の日程確認、提携企業の報告を受け、支部例会を終了しました。

午後4時からは、「中堅・中小企業の持続的成長支援に関する覚書」に基づく旭川信用金

庫との協議会が始まり、TKCからモニタリング情報サービスについての情報提供を行い、旭川信用金庫からは、事業性評価により融資を進めていること、事業承継ローン・創業サポートデスク・ビジネスマッチング・販路拡大・海外展開支援等の業務を行っているとの説明を受けました。TKCモニタリング情報サービスの開始時期については、支店における周知・受付が5月中旬には完了する予定であり、その後において開始予定とのことでした。今後のモニタリング情報サービスの周知活動等の検討などを、協議会を通じて進めていくことを確認し、終了しました。

午後5時45分からは、マスターズ会との日程が重なり、ご来賓4名会員15名と少ない人数となりましたが、盛大に懇親会が開催されました。

(旭川支部 舟橋 馨)



帰ってきた

札幌西支部 山谷 謙太

びっくりの打診の電話がありました。そして、形式的な支部長選考会議を経て、支部長に祭り上げられることとなりました。周りを固められるというか、事情も事情だし、「男山谷」立つかないなといった心境でした。

若輩者のわたしを支えてもらうべく、副支部長に重みのある先生にお願いするしか支部運営は成り立たないと考えたわたしは、O先生3人、S先生、T先生、K先生、M先生、H先生、Y先生と次々にお願いするも玉砕。わたしの人望のなさを露呈する格好となってしまいました。

今度は、戦略を変更し、顔見知りの先生達をバンバン委員になってもらい、役員の数で勝負する作戦をとりました。こちらは、普段の飲みコミュニケーションが効いたのか、心よく就任してもらいました。感謝です。

だけど、やっぱりバランスが悪いと考えたわたしは、広報委員会でお世話になった岡崎正毅先生と、勤務時代のボス中野幸一先生に協力を仰ぎ、林俊一先生に副支部長になってもらいました。この二人の先生と上原貢監事にわたしの暴走を止めてもらおうと思います。

これから全国役員大会に参加しますが、前々年度の支部例会出席率は、札幌西支部が全国最下位らしいです。大変な支部をまかされました。

今までも副支部長として鈴江前支部長をまったくサポートできなかったことを反

省しつつ、抜本的に対策を打たなければと思ってます。

役員会、総会を経て事業計画を承認してもらいますが、現在は支部運営を以下の通り行っていこうと考えてます。

支部例会は、先達の先生達が、助け合い、協力しながら、対税務署に立ち向かっていったことを参考に、支部会員のお困りごとを吸い上げていきます。

支部研修会は、自計化、書面添付、企業防衛、リスマネ、継続MASなどは(株)TKCや各委員会にまかせて、会員ひとりにスポットを当てた研修会にします。

具体的には、わたしがスタンフォード大学で学んだ人から学んだ(間接的ですが)ケーススタディ授業をやります。

第1回目は、8月22日(火)我らが田中裕之新会長をケース(題材)に、わたしがバツサリ切ってやろうと思ってます。逆に切り返されるかもしれませんが。。お楽しみに!



重責頭を抱やま



税理士 **南都 正弘** 会員 **北見支部**

関与先の経営発展を目指して 経営指導に重点を置いて 活動しています。

今回は、網走市の税理士法人オホーツクネクスト経営会計の代表社員である南都正弘会員にお話を伺いました。南都正弘会員は税務署を43歳で退官してから、税理士としてご活躍しており、北見支部で関与先を拡大しています。どのようにして関与先を拡大しているかを聞きたくて、お忙しい中、取材にご協力いただきました。

1. まずは、南都會員の経歴について お聞きしたいのでよろしくお願 いします。

税務署では43歳まで勤務していました。元々、退官まで税務署にいる意志がなかったので、税務署内において希望をだして、どんな税法にも対応できるように、法人課税部門、所得税課税部門、資産税課税部門に配属させていただいて実務に備えていました。その後税理士として独立し、網走の梁瀬公認会計士事務所を引き継いで、平成6年に南都税理士事務所を設立しました。元々、TKCの事務所を引き継いだのでその時からTKC全国会の会員であります。その後、平成21年に税理士法人を設立し、現在は、関与先が約400件、職員の人数は本部の網走が21名、支店の美幌5名の計26名で業務を行っています。

開業当初から、地域性もあり関与先のうち3分の1は農業関係者です。農業関係者に関しては勘定科目等が独特で、TKCシステムをあまり使えていません。開業後しばらくの間は、農業関係者以外の一般企業に関しても、販売管理ソフトとTKCの財務ソフトが連動しにくいなどの理由から、他の市販会計ソフトを使用していました。もう一度、TKCシステムを使用しようと思うきっかけになったのは、中小企業庁が認定支援機関として税理士の募集を行った時、TKC全国

会がこの制度に積極的に取り組んだことです。第1回目の認定支援機関の認証を受けて認定支援機関になりました。それ以前から、TKCは、継続MASをはじめとする関与先企業の経営に関する経営指導および経営発展になることを重要視していたことは解っていましたが、自分自身が確信を持ったのはこの時からです。そこから、関与先の経営発展を実現できるシステムとして自計化を進めています。経営改善計画策定支援業務などの業務でかかわった、TKCシステムではない企業にも、企業の経営の発展のために有効であるTKC会計ソフトでの自計化を勧めています。

2. 次にTKCシステムの良い点をお聞 きしたいのですが、南都會員は どの点が良いと思われますか。

ひとことで言って、TKCの自計化システムが関与先の経営発展のために有効であるという点です。

さらに、TKCシステムは税理士法人の事務所運営に役立ち、税理士法人の職員の育成および教育システムに関しても充実しています。自前で職員を育てて行くのはカリキュラムを作成するところから始めなくてはなりませんが、その必要がないと思います。これらのことから、実務に関しての研修、事務所の管理システム、OMSシステム、職員の管理体制、それによる関与先に

対する経営指導も進められることからTKCシステムは良いと思います。

3. 次に南都會員の税理士法人の特徴 についてお聞きしたいのですが よろしいでしょうか。

私の税理士法人は、法人の名前に【経営】会計と入っているように、関与先の経営面の指導、経営改善の支援、経営の再建、それに関連する事業承継に力を入れています。余談にはなりますが、道内においても多数の税理士法人がありますが【経営】という文字が入っている税理士法人は、当税理士法人だけだと思います。

当税理士法人は、経営指導部という部署があり、経営指導部には中小企業診断士の資格を取得している職員も配属していて、経営指導をすることにより、関与先企業の経営の発展を目標にしています。

北見、網走の人口は微減していますが、一般企業の顧問先の増減は横ばいではありません。一般企業の関与先の増加に関して、最近では経営指導を行ってきた顧問先と顧問先以外の企業、金融機関等からの紹介が多くなっています。一方、農業関係の関与先の増加に関しては、私が税理士会の農業の専門指導員を行っていて、農業の法人化の指導を行っていた関係で、農業関係の顧問先が増加してきました。

4. 南都會員は、昨年度から北見支部 の支部長に就任しましたが、支部 長になってから変化したことは ありますか。

税理士会の北見支部に関しては、TKC会員の率が少ないと思います。54名いる税理士のうちTKC会員が16名しかいません。その中でも自計化をしていない会員が16名の中で9名います。自計化していない会員に関しては支部の例会と



研修会の参加率があまりよくありません。例会の参加率を上げるために例会の前に個別訪問するなどして、自計化の推奨と例会の参加をお願いしています。それでも、例会の出席率は5割に到達していないので、なかなか難しい課題であります。

また、支部長としてほぼ毎月、理事会で札幌に行くので、そこで得た金融機関のモニタリング情報サービス等の最近の情報に関しては、できるだけ支部会員に情報提供するよう心がけたいと思っています。

去年まではTKC北見支部の委員会を半分以上兼務していましたが、支部長になってからは支部長と中小企業支援委員会の2つに絞りそれぞれの担当を他の会員に分担しました。そうすることで、支部会員にTKCとの関わりをより密にし、会員同士の交流が深くなっているのではと感じています。支部の例会は年に3、4回行いますが会員の所在地が離れていますので、例会、研修会、企業防衛研修の3つを同時に行い、会員だけでなく職員も参加してもらうことで、会員の負担を軽減し、参加者を増やす方向で企画しています。

5. 次に南都會員の今後の税理士法人 の展望および目標についてお聞き したいのですがよろしいでしょうか。

経営支援の経営コンサルタントではありませんが、税理士業務として経営支援業務を事業として確立していきたいと思っています。今のところ、農業関係について自計化があまり進んではいま

せんが、農業関係も含めて進めていきたいと思っています。また、今後は事業承継計画策定支援業務がますます重要業務になるだろうと考えています。承継は、「第1に、事業の承継（事業をどのようにして、どう承継するか）」「第2に、経営の承継（経営をどのように承継するか）」「第3に、財産の承継（財産をどのように承継するか）」3つの分野に分けて、3つの段階を踏んで、計画策定を支援する必要があると考えています。現在実施している経営指導業務の発展業務と位置付けて取り組んでいます。もちろん、TKCシステムによる自計化推進と適正な巡回監査が前提条件でありますので、まず、自計化をより進めていきたいと思っています。

6. 次に南都会員の趣味についてお聞きしたいのですがよろしいですか。

趣味はゴルフであります。土日はほとんどゴルフをしています。去年65歳になり、TKCの支部長になったことでもあり、今後は直接業務を減らして、TKCの会務とゴルフと税理士業務を3等分で、もとい、家庭も入れて4等分でやっていきたいと思っています。ほぼ毎月札幌でTKC北海道会の会議があり、他のTKC役員・会員との交流も増えているので、機会があればゴルフも一緒に出来ればと期待しています。ゴルフは他のスポーツと比べても年齢を重ねても行うことが可能なスポーツであるので他の会員にも勧めていきたいと思っています。

取材を終えて

私は苫小牧支部の会員であり、南都会員にお会いすることが初めてでしたが、とても気さくに取材に応じていただき、私も終始穏やかに取材を行うことができました。後輩のTKC会員、新しい税理士会員に対して、とても熱いメッセージをいただき、貴重な時間の中、取材を受けていただいた南都会員には頭が上がりません。私もTKCシステムをより使いこなしていき、南都会員のように顧問先の経営に役立てていきたいと思いました。取材にご協力いただきまして誠にありがとうございました。

(苫小牧支部 小林 史郎)

7. 最後になりますが、南都会員から若手の税理士に伝えたいことはありますか。

これからの若手の税理士の方には、自分自身の税理士事務所づくりのため、事務所を発展させるために、ぜひTKC会員になっていただきたいとお伝えしたいです。

TKCシステムとTKC全国会（北海道会）は、OMS（オフィス・マネジメントシステム）、自計化システム、巡回監査制度マニュアル、経営指導業務サポート、企業防衛推進業務等々、関与先および自身の税理士事務所の発展を実現する要素が詰まっています。他の税理士事務所向けシステムの追随を許しません。

繰り返しになりますが、ぜひ、若手のTKC会員には、TKCシステムをフル活用して、関与先および自身の税理士事務所の発展を目指して欲しいと思います。



思い出の記



札幌東支部
小田川 繁
Shigeru Odagawa

1. はじめに

この度、道税理士会の第61回の定期総会で、税理士業務50年の表彰の栄に浴することができた。誠に感激の極みであり、胸が熱くなるのを禁じ得なかった次第である。思えば昭和41年8月、13年間勤めた税務署で、分割前の札幌税務署を最後として退官、弱冠33歳で開業爾来50年の歳月を経るなかで、この日を迎えた次第である。今過ぎ去りし日々のことどもを思い起こす時、感慨無量の一語に尽きる。

この間、優れた先輩や友人に恵まれ、各位の心温まるご指導・ご支援により大過なく過ごすことができたことに、心から厚く御礼を申し上げる次第である。

2. 役員歴など

税理士会に入会して10年、春野執行部で分割前の旧札幌支部広報部長を初めとして、管野執行部の道税理士会広報部長、二代目としての札幌北支部長、笠井・長縄執行部での道税理士会副会長、そして道税理士政治連盟会長と、ほぼ30年にわたる税理士会の役員歴のなかで、20年前の平成8年11月には税理士功勞としての「黄綬褒章」を受章することができた次第である。

今往時を偲ぶ時、その一齣ひとこまが鮮明に思い起され、懐旧の念を禁じ得ない次第である。

3. 近況

「光陰矢の如し」とは、けだし名言であるが、健康管理に努めるなかで、グランドシニアとしてのゴ

ルフを楽しむ今日この頃である。

ライオンズクラブ歴も、この5月の第63回地区年次大会で、40年の優秀会員表彰を受け、社会奉仕に精進する日々が続いている。

4. 税講について

これまでの人生で、一番印象に残っているのが、国税庁(税務講習所)高等科15期生(現税務大学校の前身)時代である。東京オリンピック前年の昭和38年、東京新宿は若松町での一年間の研修生活である。全国から100人程が集まったが、この時の人脈が、私にとっての貴重な財産となっている。

愛知万博の折、旧友のいる多治見で同じゼミのクラス会が、夫人同伴で開かれ、その折の楽しかった思い出は、未だに鮮明である。当時大阪国税局から来ていたH氏(高松国税局長で退官、現在税理士)とは、久しぶりの再会であった。

因みに、同期にこの会報の山谷謙太前広報委員長の師である故藤原 聖氏がおり、10期には、今回私を指名した「TKC北海道原点の会」の南昇会員の師であり、私とともに管野執行部の常務理事を務めた故鈴木 勉氏がいる。また13期には、加藤恵一郎TKC北海道会会長の御父君である故加藤高正氏(元北海道税理士会会長)がおられ、「税講」は私の心のふるさととなっている。

5. むすび

数々の思い出は、尽きることがないが、紙数が尽きてしまった。この辺で拙文の筆を擱くこととする。

スープカレーは本懐、そこに萌えんとは、君



第5回 荒ぶる神、彼がスープカレーに萌えを付けたと聞いている

夏です。ここ数年は暑さも厳しい北海道、あえて道外へ旅立ちませんか？北海道にはない東京ならではのスープカレー店を紹介します。

「スープカレーカムイ(秋葉原)」

お店に入った瞬間、何かすごい雰囲気です。壁面いっぱい、イラストの数々！そう、ここはアキバカルチャーの聖地の一つ、様々なイラストをたくさん展示してあります。例えばスパイスを擬人化してイラスト……ってわかります？

小洒落たテイクアウト専門店オープンしたはずも、所狭しとイラストが展示された2階のイートインスペースはいつも混雑、行列も度々。店主の諸橋さんは夕張出身、カレーは澄川の老舗「木多郎」がルーツです。

とはいえ、素材の産地やコスト、お客さんの味の好みと趣味、様々な要素のシナジーとコラボの結果、独自の「秋葉原な」メニューを提供しています。時にはメイドさんをご給仕！札幌狸小路にあった

伝説のメイド喫茶「カフェ・プリムヴェール」のメイド服も登場！

しかもカレーはとにかくスープがキレキレ！このキレは札幌でもなかなか味わえません。様々なカルチャーとコラボした限定メニューが推しですが、シンプルにレギュラーメニューもよく、辛くしても辛くなくても、時には0番でスープを楽しむのもオツ、美味しく大満足。

東京に来た際には秋葉原のビジネスを体感しに、そしてキレキレのスープカレーを食べに寄るのはいかがでしょう？秋葉原でSNSを活用したビジネスの成功例としても、諸橋さんのtwitterは要チェックです。

スパイス擬人化本でコミックマーケットも参加予定です(東京ビックサイト 8月13日(日) 東W51a WLNL)。

(札幌西支部 前嶋 章宏)



ポーク野菜カレー
辛さ:7番



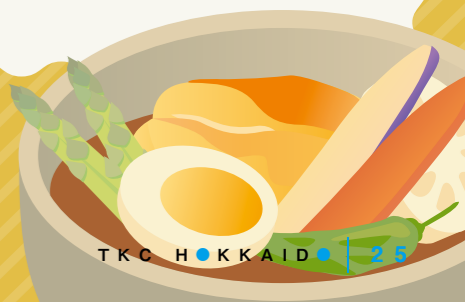
外観



店内

今回のカレー

スープカレーカムイ/秋葉原(東京)
<http://www.soupcurry-kamui.com>
<http://twitter.com/morokamui>



広報ってなに！ — 新委員長に期待するもの —

広報委員長が新しくなった。新委員長の宮下直樹先生は新進気鋭で活力に溢れ物事に対しての判断のバランス感覚が素晴らしい方だ。委員長はこの「かいほう」の編集責任者でもあり、これからの誌面作りの手腕に期待すること大である。

「広報ってなに！」と書いたが答えは意外に簡単で、今では古い手法であるが『広辞苑』を引用すると「(一般に) 広く伝えること」とある。短い広範囲にわたる奥が深い言葉である。

広報といっても当然のことだが情報を発信する者と受け止める者がいて、その目的を決め、いかなる手法を使用するか、そしてその効果をどう把握するかが課題であろうか。

企業などの宣伝活動も広報といえる。宣伝などで発信先などの相手を誤ると、その効果は直ちに売り上げなどの事業業績に影響するからこわい。広報といえば地方公共団体が出す市民向けの広報誌があるし、町内会の回覧板、サークルの活動報告、社内報や各種団体の機関紙等々がある。しかしそれらが相手先に十分周知されたのか、効果の測定は如何ほどであろうか。企業と比べるとその検証は少ないのではないかと思う。

翻ってわが『かいほう』は同一業界の限られたところでの広報だから、身内意識があり作りやすさはある。しかしどこまで読まれているのか、理解されているのか掲載される身としては気になるところだ。

常に編集者は、情報が会員のニーズに応じて

いるのかと考えているのが宿命ともいえる。定期的に刊行のものは次回の発行日が待ち焦がれるものがある。と「口」でいうのは簡単であるがその実行には多大な困難があり、時間的な制約もあることを理解する必要がある。これは誰もが認めるところであろう。この状況下で登場する宮下先生に多大の敬意を表したい。

我々に出来ることは会報の必要性を理解し、情報提供の積極的な協力だろう。

道会の総会で承認された最新の広報委員会の事業計画を見ると次のようになっている。

1. 北海道会の重点施策に寄与すべく情報を発信する。
2. 支部活動や研修報告など情報の共有化を図る。
3. 上記の目的のため『かいほう』を年6回発行する。よりわかりやすく見てもらえる誌面づくりをする。
4. 支部・委員会との連携を強化し、『かいほう』記事をいただけるようにする。

これを見ると広報委員会の仕事は会報の発行であることがわかる。ただ気になるのはこれだけでは会報は執行部の一方的な伝達場になりそうである。TKC会員は血縁的集団といわれているが、この言葉、最近は余り聞かれなくなったが、私ならこれに会員の声を集めたものの発信を期待したいと思う。

前広報委員長の山谷謙太先生の編集は新鮮で奇抜で楽しさがあって意外性に衝撃を受けた。このような編集もありかと思ったのだ。従来の形を変えようとする情熱を感じた。

自分のことを書くのは憚られるがあえて載せると、私が会報発行に関わった時、編集方針としてこう書いたことがある。(かいほう第120号)

《会報の編集・発行についてはTKC行動基準書の精神を順守し、会員のために有意義な情報を発信することを第一とする。また全国会・北海道会の基本方針から逸脱しないものとする。

そして会報は

- 執行部の意思伝達
- 道会・支部の活動報告
- 会員の意見・提言等の発表
- 会員相互の交流と情報交換
- 提携関連企業・団体等の情報交換

の場になるものとする。》と。

その結果の自己評価では満足度は最低だ。そんなに急にはうまくいく訳がないのだ。ただ今でもこれが広報・会報の原点と思っている。皆様はどんな意見や感想をお持ちになるのか知りたい。

会報は読まれなければ何の意味もない。ただ字と数字と写真を並べて作っても基本には理念が必要であろう。自己満足感だけが残るのは避けたい。

かいほう第126号に前々広報委員長の岡崎正毅先生が「会報って何だろう」という表題で書いている。

《機関紙、同人誌、啓蒙誌、情報誌、広報誌…それら全部を引くくめて会員に開放された

空間で、快報から怪報まで、介抱や改封はありえないけど、皆さんの懐抱を解放する場であってほしい。時には、外に向かってTKC理念や職業会計人の想いを訴えてもいいのかもしれない。皆さんの御寄稿をお待ちしております。「提言北海道を元気にする税制」「関与先のわがまま」「これが私の生きる道」等々、テーマは自由(規制緩和?) どしどし投稿して下さい》と。

お断りするがこの部分は掲載された全文の極く一部分の引用で「何故全文載せないのか」とお叱りを受けそうだ。

国際状況・社会環境・情報技術・人工知能など刻々変化している時代。この中であって『かいほう』はどう変化していくのか。

新委員長のこれからの手腕の発揮が楽しみで興奮している今日この頃である。

小中 圭三

■次号予告■

題名 「俺とお前は友達か！
その挨拶の態度はなんだ！」
サブ (前 218 号の本コラム欄
「挨拶はむづかしい」の当事者を探せ)

多数の関係各社(者)から「うちの社員のことなら注意する」「どこの会社の人間の話か」との質問がありましたので、それにお答えします。

— 乞うご期待 —

委員長みやしたの 取調室!

カツ丼 食ってか?
※みやしたの自腹です(泣)



札幌東支部
大林 慎一
Shinichi Obayashi

先日ある所用があり上京した。朝早い便で札幌を発ったため、夕方の予定まではたっぷり時間がある。そんな時はよく美術館巡りをしていたが、今回は残念ながら特に興味を惹かれる作品展がなく、では他にと調べたところ、日比谷公園で『オクトーバーフェスト』というドイツビールの祭典が行われていることがわかった。「まだ秋ではないのになぜ『オクトーバー』?」という疑問を持ちつつ会場に向かったところ、開場から一時間程度しか経っていないというのに、先客達が多く詰めかけ、また、大いに盛り上がり、座席を見つけるにもやっと。出発した際の札幌の曇天とは違い、この時の東京の晴天下では、すぐに喉をビールで潤したいところではあるが、数か所あるブースとも列が混雑しており、ここは受け取るまで少しの我慢。やっとビールを手にし、席に戻ってきたところ、今度は本場ドイツの楽団

によるステージショーにて乾杯の音頭を取るという。「1, 2, 3, 飲み干せ! 乾杯!」(ドイツ語で)と、楽団員のみならず聴衆が気持ちを一つにして声高らかに叫び、そしてグラスを打ち鳴らす。やっと口にできたビールは、酵母が効いていてとてもフレッシュな味がした。

その後は、同じテーブルに居合わせた方々と乾杯を通して楽しく過ごすことができ、つつい長居となり、ビールと食事次々と新しいものに交換し、結局、4時間近く会場にいたことになった。

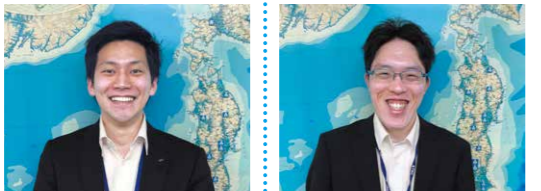
そして、その時、ビールの味、会場の雰囲気を楽しみながら、十数年前の6月に出かけたドイツ旅行を思い出していた。

ドイツのロマンティック街道を北から南に抜け、各地域のビールを堪能。また、ミュンヘンでは世界一有名なビアホールといわれている『ホフブロイハウス』で、今回のようにステージショーを見ながら何度も乾杯をし、ビールを飲み干し、一緒に歌い、ダンスをし、たくさん笑った。楽しい思い出は、いつであっても鮮明に映像に浮かぶように思い出せるものだ。決して色あせない。

また来年も、このイベントに合わせて上京し、ステージショーを楽しみ、『乾杯の歌』に合わせて何度も乾杯をし、大いにビールを飲みたいものだ、小さな希望を持った。

以上が、私が久々の休日に、心身ともに「かつろぎの時間」を得られた一つの出来事である。

第9回目の今回は、新入社員の 高橋さんと中永さんです。



高橋 太郎 中永 圭祐

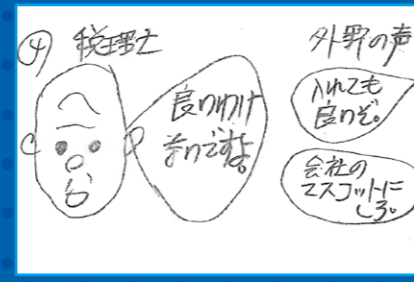
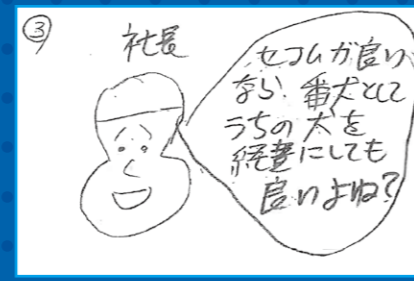
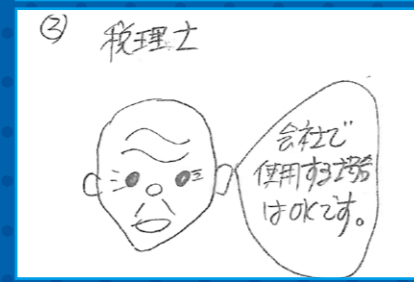
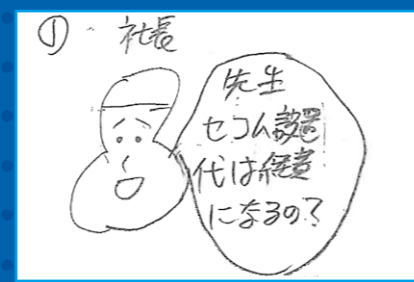
出身	埼玉県	兵庫県神戸市
出身校	新潟大学	北海道大学
血液型	A型	B型
星座	しし座	うお座
愛読書	小川洋子、伊坂幸太郎、万城目学など現代小説をよく読みます。	くまのパディント
趣味	ギターとウクレレ	食べ歩き
好きなスポーツ	ランニング(最近は出来てません...)	卓球
好きな女性のタイプ	趣味に理解を示してくれる人	意志が強い人
家族	両親、妹、犬一匹	父、母

どんな人と
言われる? 名前に驚かれることが多いです。

失敗談 大学時代、某ファーストフード店のアルバイトにて、ドライブスルーのお客様に商品(おもちゃ)の渡し忘れが発生! 200m程走って車を追いかけ、何とか渡せました。

会員へのメッセージ 一日でも早く、頼りになるSCGになれるよう精進します。 よろしくお祈りします!

番犬



(絵:札幌西支部 戸井 正人)

★急募 漫画家求む! 広報委員会

取り調べを終えて

新委員長として初の取調べはフレッシュなお二人にお願いしました。先日、私の事務所に来てくれましたが、二人ともハキハキと喋る好青年でした。ありがとうございました。皆さん、可愛がってあげてくださいね。(みやした)
ps. 漫画家になりたい人&取調べられたいSCGさん募集中です。

編集後記

editor's note

今年の7月から新たに広報委員長を拝命しました、宮下です。私自身、広報委員会の委員を4、5年前に担当しておりましたが、それ以降は携っていませんでしたので、今回、このような形で関わることになるとは正直思っておりませんでした。ただ、そこは田中新会長から直々に依頼され『Yes or はい』しか選択肢がありません。頑張るのみです!

せっかく担当させていただくので、皆さんに楽しく読んでいただける会報作りを精一杯行っていきます。そして自分自身も楽しんでいきたいと思っています。また、こんな私を支えてくれるように、前任の山谷委員長時代から広報委員を担当されている先生方に留任いただきました。感謝感謝です。ありがとうございます。

会員先生におかれましては、会報紙面作りのために原稿依頼をさせていただくことが多々あるかと思いますが、その際は、楽しい会報作りのため、会員の皆様への情報提供のため、どうぞお力をお貸しください。そして、会報の紙面に対してご意見、ご要望がございましたら、是非、お気軽にご連絡ください。こんなコーナーが欲しいとか、この活動を是非取材してほしいなど何でも結構です。

前任の山谷委員長のような会報作りができるよう頑張りますので、皆様、どうぞよろしくお祈りします。(宮下)